

## 階段の高さ（階段高）を調整する方法

文書管理番号：1171-02

### Q. 質問

階段を上階までではなく、階の途中までの高さになるようにしたい。  
スキップフロアの階段を作成したいが、高さが合わない。

### A. 回答

階段の高さ（階段高）は、高さ設定や物件概要の建物高さで設定した「階基準高さ」と、階段が隣接する部屋の「床高」から自動計算されます。

階段高の計算に使用する各種高さの自動取得には、下階層から上階層へ上がる階段を想定した方法と、スキップフロアなどの同一階内で床高が異なる部屋をつなぐ階段を想定した方法があります。

各種高さの自動取得方法の切り換えは、階段配置時や内部階段変更の画面で行えます。

内部階段変更 ×

階段高	全段数	蹴上	階段幅	階段奥行き	全幅	階段長	廻り方向	登り壁高さ	手摺設置高
3030	15	202	910	910	1820	1820	左	30	-

階段種類	長さor角度	段数	踏み面	設置高	勾配	側面(左側)	側面(右側)	手摺	手摺取付
箱型	910	4	227.5	57	0.8879	なし	なし	OFF	なし
箱型	角度設定	6		865		なし	なし	OFF	なし
箱型	910	4	227.5	2077	0.8879	なし	なし	OFF	なし

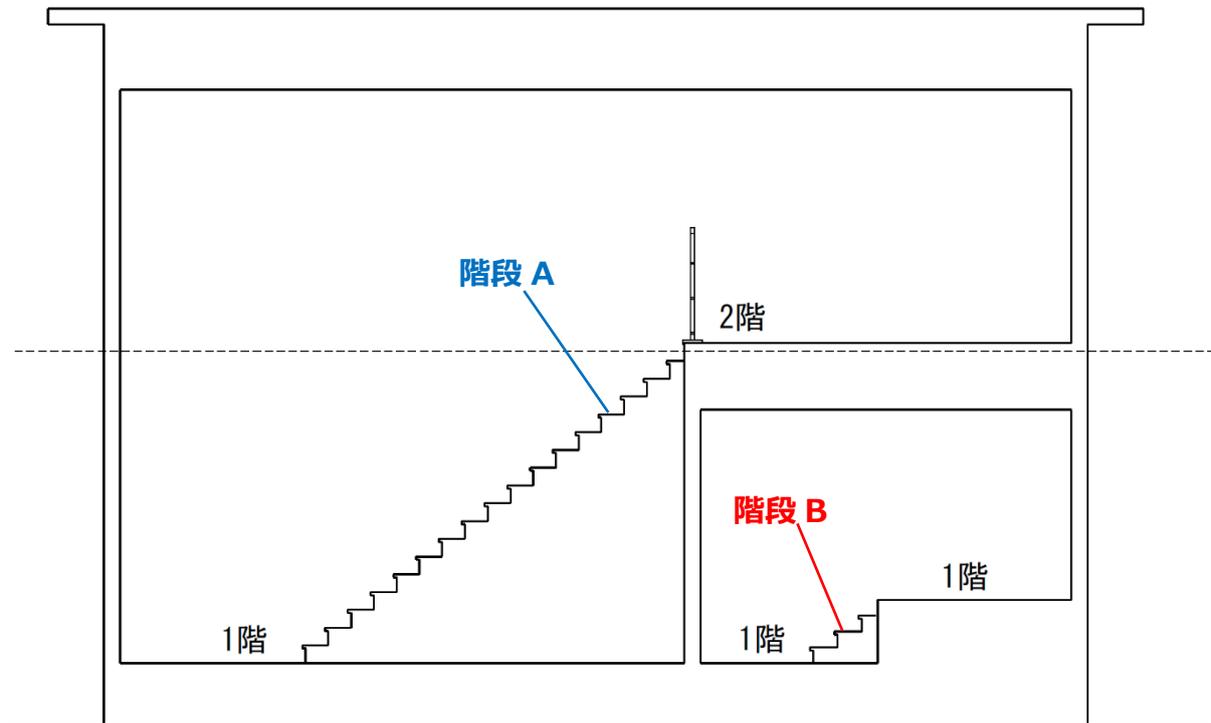
高さ情報は高さ設定の情報に追従する。

床の段差部（同一階層内）

階高さ	下階床高	上階床高
3010	57	77

- 高さ情報は高さ設定の情報に追従する  
下階層から上階層へ上がる階段を配置する場合にチェックを入れます。  
「高さ設定」で設定されている情報から「階高さ」を取得し、階段が隣接する部屋の床高から「下階床高」「上階床高」を取得します。
- 床の段差部（同一階層内）  
スキップフロアなどの同一階層内で床高が異なる部屋をつなぐ階段の場合にチェックを入れます。  
同一階層内の階段のため、「階高さ」は0になり、階段が隣接する部屋の床高から「下階床高」「上階床高」を取得します。



**階段 A : 1 階（下階）と 2 階（上階）を繋ぐ階段**

「高さ情報は高さ設定の情報に追従する」にチェックを付けて階段を設定します。

**階段 B : 1 階の床高が異なる部屋同士（同一階層内）を繋ぐ階段**

「床の段差部（同一階層内）」にチェックを付けて階段を設定します。

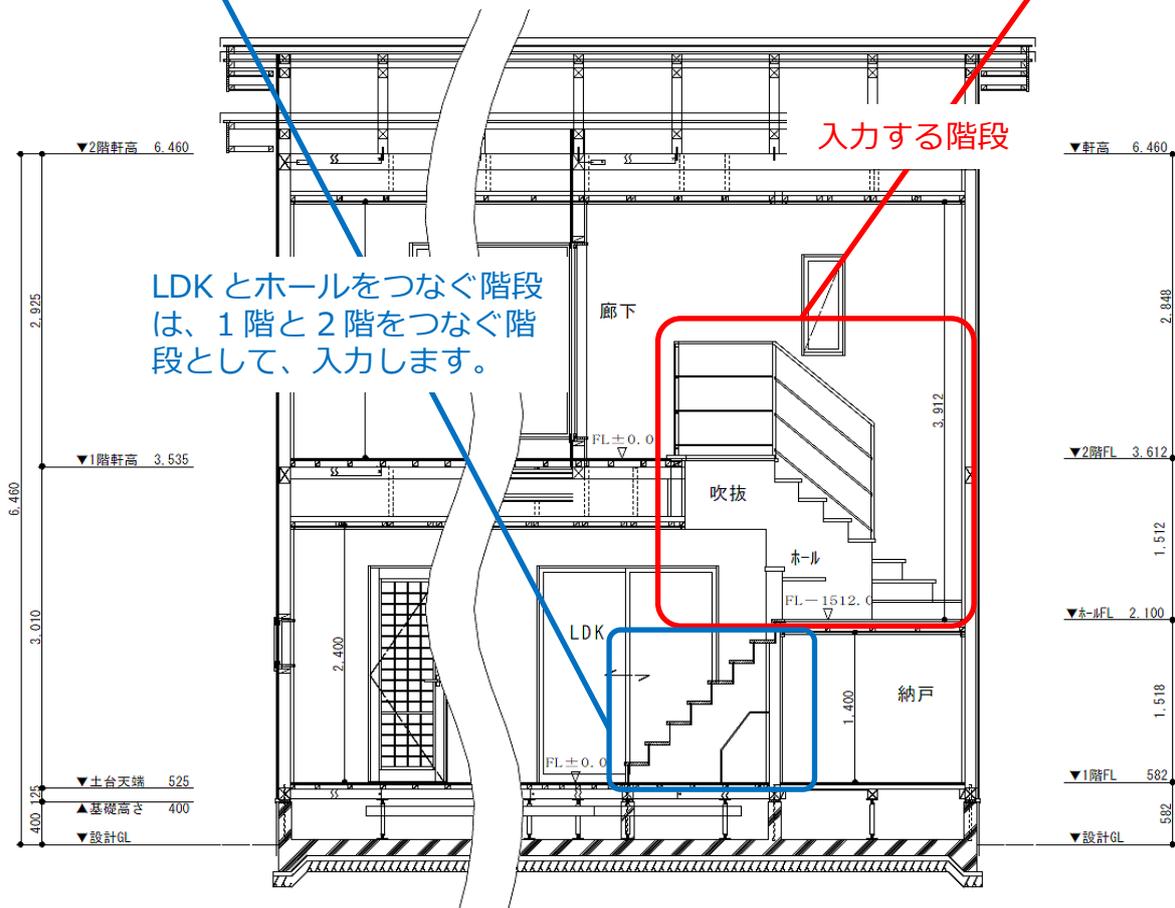
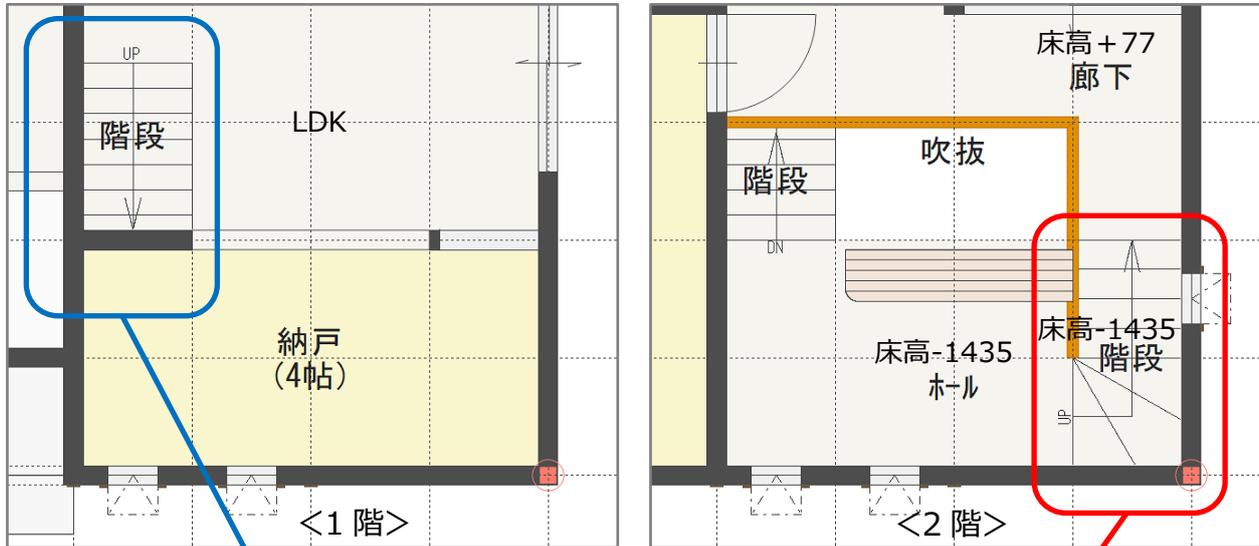
\* スキップフロアの作成手順の一例については、こちらをご覧ください。

[\[1062\] スキップフロアの入力方法](#)

ここでは、図のように2階で床高を下げてスキップフロアにしたホールと2階廊下をつなぐ階段の入力方法を説明します。

ホールと廊下をつなぐ階段は2階で入力し、階段区画は「階段(最下階)」に設定します。

ホールの床高は「-1435」mmとし、階段区画の床高もホールと同じ「-1435」mmに設定します。



<矩計図>

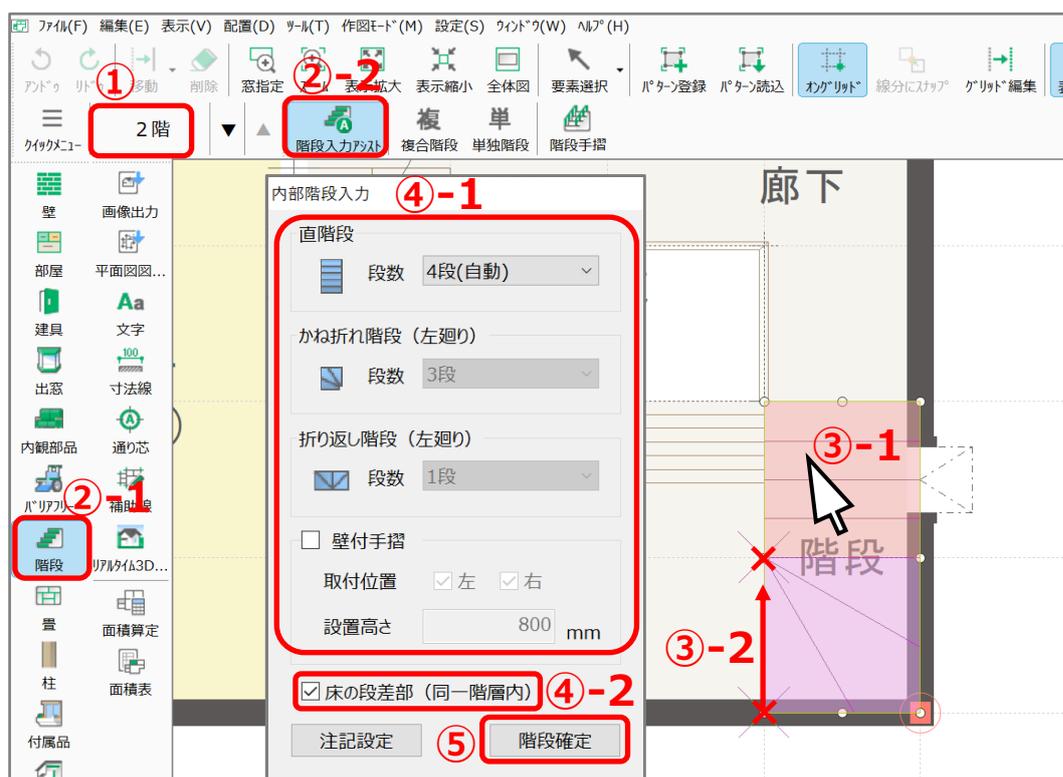
- \* LDK とホールをつなぐ階段は、1階と2階をつなぐ階段として「高さ情報は高さ設定の情報に追従する」にチェックを入れた入力方法で配置可能です。

プラン図で、 (壁)、 (部屋)を入力した状態から説明します。

 (壁)、 (部屋)の入力について、詳しくはA's (エース) のマニュアルやヘルプをご確認ください。

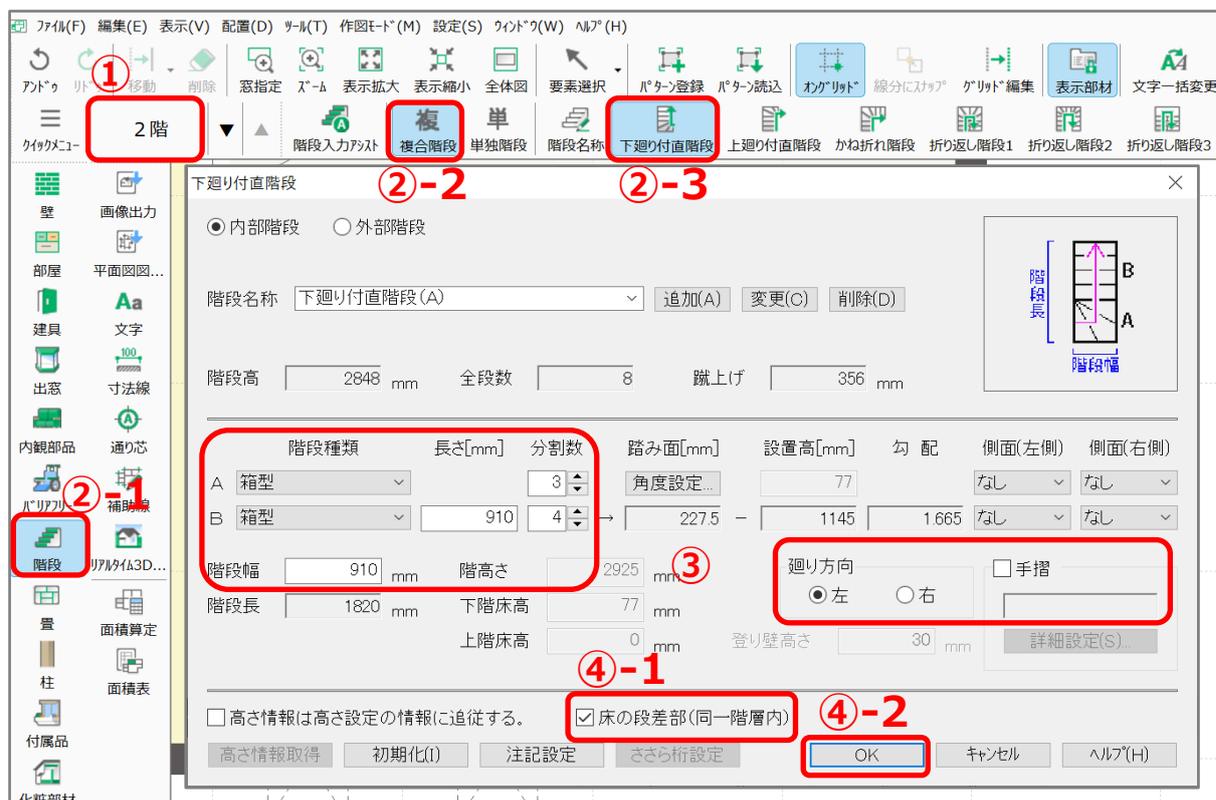
## 操作手順：階段入力アシスト

- ①  (プラン図)で2階を表示
- ②  (階段)の  (階段入力アシスト)をクリック
- ③ 階段の区画内をクリックし、登り口の幅を起点—終点で指示
  - \* 内部階段入力の画面が表示されます。
- ④ 「床の段差部 (同一階層内)」にチェックを付け、階段を入力
  - \* ここでは、折り返し階段「3」段+直階段「4」段で入力していき、「壁付き手摺」のチェックは外します。
  - \* 「床の段差部 (同一階層内)」にチェックを付けることで、同一階層内の部屋同士をつなぐ階段として、各種高さを取得し、階段高を計算します。
- ⑤ 「階段確定」をクリック
  - \* ホールと廊下をつなぐ階段が配置されます。



## 操作手順：複合階段

- ① (プラン図)で2階を表示
- ② (階段)の複 (複合階段)をクリックし、 (下廻り付直階段)をクリック
  - \* ここでは (下廻り付直階段)を選択しましたが、間取りにあわせて選択してください。
  - \* 下廻り付直階段の画面が表示されます。
- ③ 各項目を設定
  - \* ここでは、Aを階段種類「箱型」、分割数「3」、Bを階段種類「箱型」、長さ「910」mm、分割数「4」、階段幅「910」mm、廻り方向「左」、手摺のチェックを外します。
- ④ 「床の段差部 (同一階層内)」にチェックを付け、「OK」をクリック



- ⑤ 階段区画内でクリック
  - \* 階段区画が赤く選択され、マウスと共に階段のラバーバンド表示が動きます。
- ⑥ マウスを階段の登り口の外側の角に合わせて、階段形状の向きがあった状態でクリックし、確定
  - \* ホールと廊下をつなぐ階段が配置されました。

## 操作手順：単独階段

- ① (プラン図)で2階を表示
- ② (階段)の **単** (単独階段)をクリックし、 (かね折れ階段)をクリック
  - \* かね折れ階段 (単独) の画面が表示されます。
- ③ 各項目を設定し「OK」をクリック
  - \* ここでは、階段種類「箱型」、分割数「3」、階段幅「910」mm、階段奥行「910」mm、廻り方向「左」、全段数「8」、手摺のチェックを外します。
  - \* 階高さ、下階床高、上階床高は後から調節するためこのままとします。



- ④ 階段区画内でクリックし
  - \* 階段区画が赤く選択され、マウスと共に階段のラバーバンド表示が動きます。
- ⑤ マウスを階段の登り口の外側の角に合わせて、階段形状の向きがあった状態でクリックし、確定
  - \* かね折れ階段が配置されました。
- ⑥ (直階段)をクリック
  - \* 直階段 (単独) の画面が表示されます

⑦ 各項目を設定し「OK」をクリック

\* ここでは、階段種類「箱型」、階段長「910」mm、分割数「4」、階段幅「910」mm、全段数「8」、手摺のチェックを外します。

\* 階高さ、下階床高、上階床高は後から調節するためこのままとします。



⑧ 階段区画内でクリック

\* かね折れ階段に接続して、直階段が配置されます。

⑨ (要素選択)で階段をクリック

\* 階段の表示線上をクリックしてください。  
\* 階段が赤く選択されます。

⑩ 右クリックメニューの「階段変更」をクリック

\* 内部階段変更の画面が表示されます。

⑪ 「床の段差部 (同一階層内)」にチェックを付けて、「OK」をクリック

\* 階高さ、下階床高、上階床高などの数値がグレー化し自動取得されます。



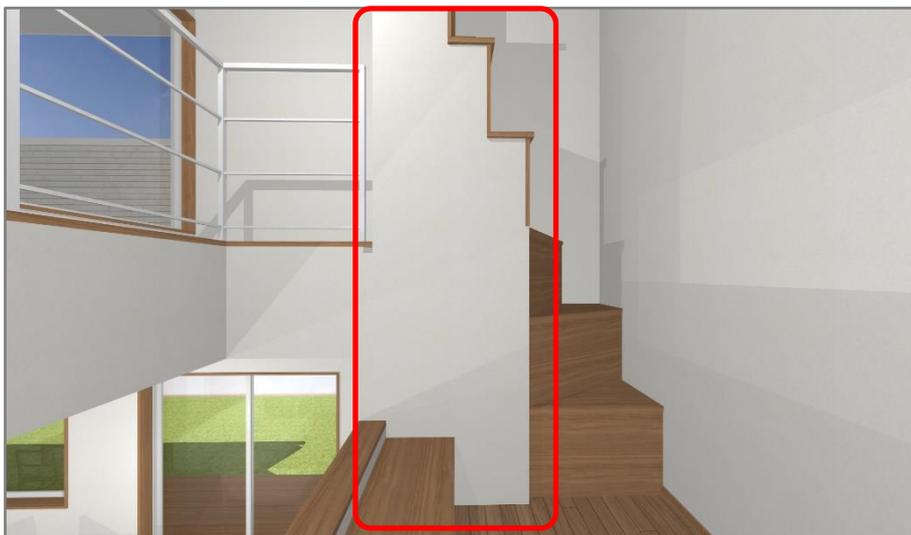
\* ホールと廊下をつなぐ階段が配置されました。



【参考】「床の段差部（同一階層内）」にチェックが無い場合

同一階層内の区画同士をつなぐ階段を配置する際に、「床の段差部（同一階層内）」にチェックを付けず、「高さ情報は高さ設定の情報に追従する」にチェックを付けた場合、階高さは当該階の階高を取得するため、階段が意図した高さにならず、ホールと廊下がつながりません。

「階段入力アシスト」で「床の段差部（同一階層内）」にチェックを付けない場合も同様です。



「床の段差部（同一階層内）」、「高さ情報は高さ設定の情報に追従する」ともにチェックを付けなかった場合、「階高さ」「下階床高」「上階床高」「設置高」の手動入力が可能となり、任意の高さで階段を配置できます。